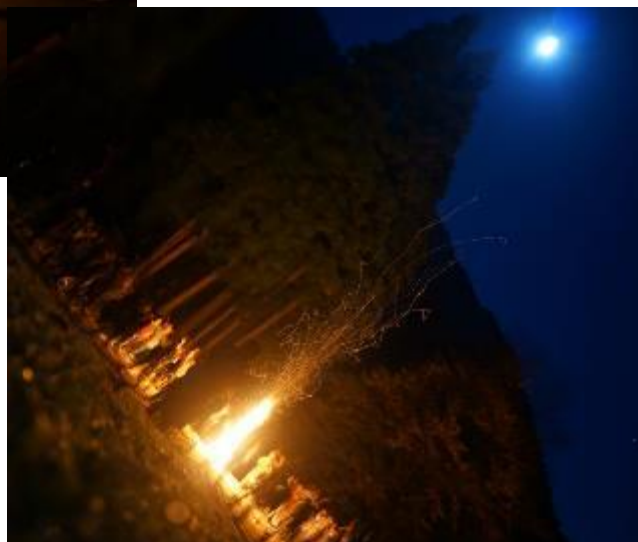


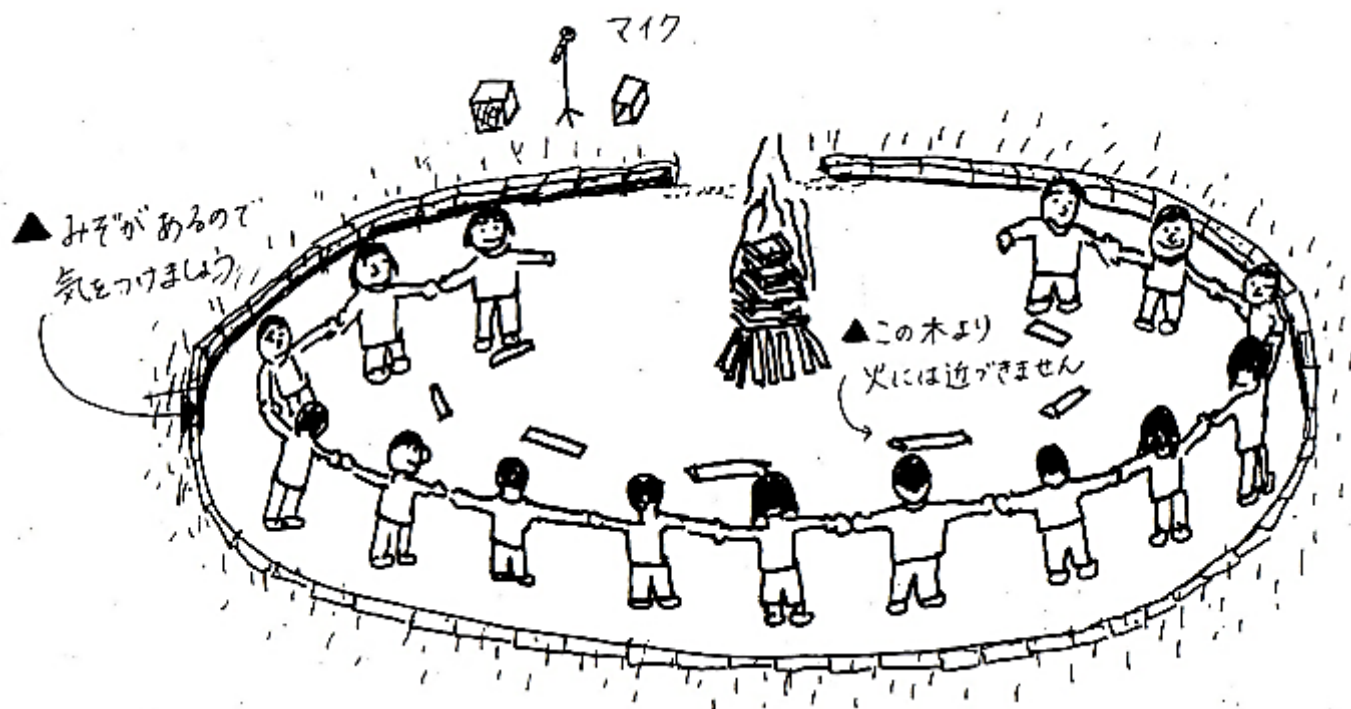
# キャンプファイア



活動場所	ファイア場、実習棟、交流ひろば	自然の家で用意するもの	ファイア薪（有料）、灯油、金バケツ、放送機器、皮軍手、火ばさみ、トーチ棒（最大4本）、火の神の衣装
所要時間	0.5～2時間		
人数	制限無し	利用者で用意するもの	トーチ（4本以上必要な場合）

キャンプの醍醐味はやっぱりキャンプファイアです。気持ちも盛り上がり、仲間と共に自然の中にとけ込んでいる気分になります。人間が生きるに欠かせない火を囲みながら、自分を見つめ直すのもまた良いものです。

## キャンプファイア



### とくに大切なこと

- ①暗いので足元に気を付けて行動しましょう（ファイア場の周りにはみぞがあります）。
- ②火に近づきすぎないようにしましょう。
- ③先生や友だちの話をきいて、安全に楽しく活動しましょう。

## 1. 学習内容

めざすもの（評価）	関連教科	学び（単元）
<ul style="list-style-type: none"><li>・家族など生活を支えてくれる人々に尊敬と感謝の気持ちを持つ。</li><li>・友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。</li><li>・相手のことも理解し、自分と異なる意見を大切にすること。</li></ul>	道徳	「感謝」  「友情、信頼」  「相互理解、寛容」
<ul style="list-style-type: none"><li>・どのように歌うかについて想いや意見を持つ。</li><li>・各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて声を合わせる技能を身につける。</li></ul>	音楽	「今日の日はさようなら」 「ふるさと」 「四季の歌」 等

## 2. ポイント

### ア) 活動前

- ・薪の組み方については次頁を参考。
- ・音響（マイク・CD）やスポットライトを使用できる。
- ・係を決めておく（係、セレモニーの流れは193ページにある）。
- ・点火をする人には事前に着火点を確認してもらう。

### イ) 活動中

- ・火を扱う学習なので気をつけるよう指導をする。

### ウ) 活動後

- ・消火はあらかじめ準備した金バケツに入った水をかけ、火が消えたことを確認する。
- ・消火した薪などはそのままにしておき、翌日の朝に一輪車等を利用して、灰捨て場（実習棟裏手の穴）まで燃えかすを捨てに行くこと。
- ・音響関係はステーションに返却する。
- ・一輪車やトーチ、スコップなどは実習棟に返却する。

## 3. 安全対策について

--

## キャンプファイアの準備及び進行の基礎基本

### 【キャンプファイアの組み方の種類】

※実際にキャンプファイアを組む際は下記の3種を組み合わせて作ります。



#### 《井げた型》

「井」の形に薪を組む形で、キャンプファイアの土台です。薪の太さや高さを**バランスよく組む**ことが大切です。井げたに傾きがあると、燃えているときに倒れる危険性があります。



#### 《ピラミッド型》

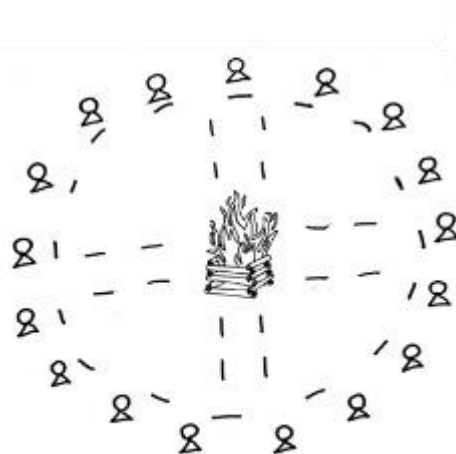
三角錐の形に薪を組む形で、キャンプファイアの一番上に作ります。**一点に木を集める**ことで、きれいに高く火が燃え上がります。



#### 《すのこ型》

井げた型に薪を敷き詰め、すのこの形にした組み方です。キャンプファイアの点火口に使ったり、火が下の薪に移るのを遅らす働きがあります。よって、組む際は**隙間なく薪を敷き詰める**ことが大切です。

### 【キャンプファイアでの安全体制】



キャンプファイアを囲んでいる薪は子どもの**立入禁止区域**です。火の粉などのやけどを防止するために**半径5メートル以上の円**を薪で作ってください。

キャンプファイアに向かって置いてある薪が点火口入口です。これがあることで、どこから火をつけるかが明確になります。

### 【トーチ棒の持ち方】



トーチを上向きにして膝を曲げて着火する



トーチ棒を下向きにすると、火がトーチをつたってくるので危険です。

## キャンプファイア30分用(薪4束必要)

①井げた型を3段作る



太い丸太を選び高さが均等になるように置きます

②すのこ型を1段のせる



7~8本の薪でフタをするように置きます。

③その上に井げた型を2段のせる



④すのこ型を1段のせる



新聞紙はテルテル坊主のような形がお勧めです。その上に灯油袋を置いてください。

⑤新聞紙と灯油袋を置く



この新聞紙が着火点になります。新聞紙に火をつけ、新聞紙から灯油の入った袋に点火する仕組みです。

⑥井げた型を4段のせる



⑦⑥でつくった井げた型の中に細い薪を入れる



細い薪を一点に集めるようにピラミッド型で作ります。  
※灯油袋を破かないように薪を入れましょう。

⑧風よけを作り点火口入口と立ち入り禁止区域を作って完成



風よけは薪を立てかけ、全方向に置いていきます。

## キャンプファイア1時間用(薪6束必要)

①薪1束を井げた型で  
全て囲うように組む



囲う際に薪の高さを  
できるだけ均一に  
しましょう。

②すのこ型を1段のせて  
ふたをする



①の薪1束が隠れるように、  
すのこ型でフタをします。

③すのこ型を3段のせる



1時間用のキャンプファイ  
アにするために、重要な  
ものです。

④新聞紙と灯油袋を置く



この新聞紙が着火点にな  
ります。  
新聞紙に火をつけ  
新聞紙から灯油の入った  
袋に点火する仕組みです。

⑤井げた型をのせる



井げた型を組む時に  
新聞紙が隙間から出るよ  
うにしてください。

⑥井げた型の中に細い  
薪を入れる



細い薪を一点に集めるよ  
うにピラミッド型を作りま  
す。  
※灯油袋を破かないよ  
うに薪を入れましょう。

⑦風よけと点火口入口を  
作ったら完成



新聞紙はテルテル坊  
主のような形がお勧  
めです。  
その上に灯油袋を置  
いて下さい。

## キャンプファイアの流れと台詞（例）

### 流れ

- (1) 開会の言葉
- (2) 営火長入場
- (3) 火の女神登場
- (4) 点火
- (5) ゲームと歌
- (6) ファイアの終わり
- (7) 営火長の話

### 進行シナリオ

#### (1) 開会の言葉

- ・きょう1日の私たちの活動を強く照らして続けていた太陽も、先ほど西ののかなたへと沈んでいきました。その情景を思い出しながら私たちのこの集いをはじめのため営火長を迎えましょう。

#### (2) 営火長入場

- ・火の女神によって、この〇〇の地にまもなく火が運ばれようとしています。この集いの輪にほのかな明るさを与えてくれるでしょう。火は遠い昔から私たちに生きることの喜びや勇気を与えてくれたものです。火は自らを焼き尽くしながら光と熱を私たちに与えてくれます。火は私たちの生命ともいえるものです。数千年の昔から私たちの祖先が火を守って、ある時は獣や外敵から身を守ったり、物を作ったりすることを教え、また明るくすることを考えてきました。私たちはこの闇夜に光を与える炎のように明るさと希望をもって生きていくことを誓いたいと思います。

#### (3) 火の女神登場

- ・遙かなる山々に流れる風にのり、火の女神が私たちのために、愛と友情の火をつけて、今ここに舞い降りてまいりました。火の女神の登場です。

#### (4) 点火

- ・さあ、みなさん、ファイアに火がつかしました。この火が燃え上がり、天まで焦がすまでいっそう燃えますように、全員で元気よく〇〇の歌を合唱しましょう。

(5) ゲームと歌

- ・それではこの燃え上がった炎を見つめ、今宵ひととき大いに盛り上がりましょう。

(6) ファイアの終わり

- ・あれほど勢いよく燃えていた火も、いつも間にか小さくなりました。楽しかったファイアを胸におさめながら、営火長の言葉を静かに聞きましょう。

(7) 営火長の話

- ・いつの間にか火も小さくなってきました。私たちの顔や体だけでなく、胸の中まで、真っ赤な炎で熱くなっています。火の明るいうちにもう一度となりの人の顔、炎の向こうの人の顔を見てください。素晴らしい表情を。いつかどこかで再び出会うときがあるかもしれません。そのときも今夜のこの私たちの顔でいたいと思います。それでは小さくなってきた火とともにキャンプファイアを閉じたいと思います。